

事業評価票（情報システム関係予算）

29	総合情報処理システム（東京消防庁総務部）	運用開始	平成 26 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防、水利、消防団、救急・災害統計、人事等の19システムで構成されており、消防行政推進に必要な事務システムである。 		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本システムは平成26年度末に機器更新を行ったところであるが、各事務システムを効果的に活用するためには、時勢に合わせた改善を随時実施していく必要がある。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・ システムを安定稼働するための機器賃借経費、運用経費等を計上する。 ・ 本システムの再構築は平成32年度末を予定しており、都民サービスの高度化、業務効率の一層の向上、システム可用性の向上等を目指し、基本設計を行う。 ・ 事務効率及び都民サービスの向上、制度改正に適切に対応するため、一部のシステムの機能改修経費を計上する。 ・ 職員の増員に伴い必要となる事務端末等を増設する。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度見積額	
		1,768 百万円	
		28年度予算額	
	1,719 百万円		
情報通信企画部 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器賃借経費や運用経費等については、継続的な経費及び運用実績に基づく作業工数として積算されており、妥当である。 ・ システム再構築に当たっての基本設計経費については、前回の再構築の実績及び作業工数に基づき積算されており、妥当である。 ・ 改修経費については、大量データ処理のシステム化による業務改善として必要性が認められ、作業内容に基づき積算されており、妥当である。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度所要額	
		1,768 百万円	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記評価に同じ。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度予算額	
		1,768 百万円	
30	市場日報公表システム（中央卸売市場事業部）	運用開始	平成 9 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卸売市場法、中央卸売市場条例、規則等で義務付けられている日々の入荷量等の市場取引情報を公表するためのシステムであり、各市場からの水産物部・青果部・花き部・食肉部の市場取引情報を本庁サーバに収集し、日々集計・公表している。 		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各市場において日報公表システムを構成する機器は、導入後4～5年が経過し、老朽化が進んでいるため、機器の更新が必要である。 ・ また、日報公表システムを構成するOSが更新に伴い変更となるため、予め動作に係る検証及び対応を行う必要がある。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の更新は、本システムを継続的かつ安定的に運用するために必要不可欠なものであり、機器入替えに要する経費を精査し、計上する。 ・ OS変更に伴う動作検証及びシステム改修に要する経費を精査し、計上する。 ・ その他、システム運用に係る所要の経費を計上する。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度見積額	
		11 百万円	
		28年度予算額	
	23 百万円		
情報通信企画部 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の更新に係る経費については、必要となる機器仕様に基づき積算されており、妥当である。 ・ OS変更に伴う動作検証及びシステム改修に係る経費は、検証及び改修の内容・範囲に応じた作業工数に基づき積算されており、妥当である。 ・ システム運用経費については、現行システムの運用実績を踏まえ、作業工数に基づき積算されており、妥当である。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度所要額	
		11 百万円	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記評価に同じ。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度予算額	
		11 百万円	